

受 験 番 号						氏 名	

**2017 (平成29) 年度放送大学**  
**大学院修士課程**  
**文化科学研究科 文化科学専攻**  
**人文学プログラム**  
**筆記試験問題**

試験日：2016 (平成28) 年10月2日 (日)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。**問題冊子は、表紙、白紙、問題4頁の順に綴じられています。**冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号、「大問題」番号、「大問題」ごとに何枚目であるかを解答用紙別に必ず記入してください。小問題及び選択問題を解答する際の番号は、解答用紙のマス目の外に記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、**人文学プログラムは3枚**で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

## 人文学プログラム 筆記試験問題

次の各問に答えなさい。

なお、解答用紙は各問（大問題）ごとに使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を必ず記入すること。

### 第1問

以下の①～⑤の設問のうち、あなたの研究題目に最も近い分野の設問を一つ選んで、その設問に対して解答しなさい。なお、選択した設問の番号を、解答用紙の冒頭に明記すること。

#### ①〔哲学・思想・宗教〕

哲学・思想・宗教において、あなたが最も関心を持っているテーマの概略を述べた上で、どうしてそれを問題にしようと思うようになったのか、これからどのように深めていきたいのか、それを研究することにはどのような意義があると考えているのか、1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ②〔美学・芸術論〕

あなたが最も素晴らしいと考えている芸術作品を一つ選んで、その芸術作品を美学・芸術学の視点から、1000字以上1200字以内で分析しなさい。

#### ③〔歴史学〕

歴史学研究における史料の役割について、自らの研究テーマを事例として挙げながら、1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ④〔文学・言語文化〕

文学・言語学・言語文化に関して、あなたが最も興味を抱いている作品・作家・理論・現象などから一つ選び、

(1) それを選んだ理由、

(2) それについてこれまで勉強したこと、

(3) これから研究していくとしたらどのような問題意識でアプローチしていくか、

について、合わせて1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ⑤〔人類学・比較文化〕

下の語群の中から三つ以上を選び、それらを相互に関係づけ、あなたの研究テーマに沿って、または具体的な事例を挙げて、1000字以上1200字以内で論じな

さい。冒頭に適切なタイトルをつけること（1行以内、但し字数に含めない）。  
また、選んだ語を最初に使うときに下線をつけること。

結婚、民族、コミュニティ、都市、環境、生業、芸術、信仰、情報化、性、  
階層、国家

## 第2問

以下の英文を読んで後の設問に答えなさい。

I got in trouble over a four-letter word the other day. None of the ones you are thinking of: it was ‘they’.

At the start of 2016, the good folks of the American Dialect Society got together to crown their Word of the Year. They have decided that <sup>(a)</sup>the word could now be used as a singular pronoun, flexing the English language so a plural could denote a singular, genderless, individual.

Winnie-the-Pooh author AA Milne once wrote: ‘If the English language had been properly organised ... there would be a word which meant both “he” and “she”, and I could write: “If John or May comes, heesh will want to play tennis”, <sup>(b)</sup>which would save a lot of trouble’. And this *is* an English problem; the ‘all languages are this way, it’s just the way of the world’ argument is a convenient one, but not true.

In the past, I have tried solving the problem of inherent sexism in language by alternating male and female pronouns when referring to generic professions – where I refer to a patient as ‘he’ in one sentence, I may refer to his doctor as ‘she’ in the next. I make certain that my generic ‘shes’ are not always in positions of vulnerability.

<sup>(c)</sup>Within the last few decades, we have seen a shift in this regard: air hostesses became cabin crew, male nurses are nurses, firemen are firefighters. Women are no longer just hurricanes and boat names, and in turn, men are no longer ridiculed for working in ‘female’ professions like airplane service or nursing. These are modest but significant changes, all the more significant when you consider these terms came into practice from a deliberate drive to address outdated stereotypes. We still need deliberate effort to remove sexism – like the *Washington Post*’s recent move from she/he to they as their default pronoun.

In 1986, Joan Scott wrote that gender is not just about sex, but is also ‘a primary way of signifying relationships of power’: two decades since she wrote that, these battles continue. I think ‘they’ is the way to proceed as a default, until English is spoken in a world where the inherent power disparity between the ‘hes’ and ‘shes’ is eradicated. I know it won’t happen in my lifetime, but as long as we continue to use a language that is inherently sexist, we will be forever perpetuating sexist ideology, even without

intending to. I still do not know how to talk about this without inspiring fights – but it is an important one.

By Lorraine Berry, *The Guardian*, 5 May, 2016. より一部改変

- (1) 下線部 (a) は何を指しているか。指している語を書きなさい。
- (2) 下線部 (b) が表している内容として正しいものを、次の選択肢①～④の中から一つ選びなさい。
- ① heesh がテニスをしなくて済むから面倒が省ける。
  - ② heesh にテニスをさせておけば良いから面倒が省ける。
  - ③ heesh を使えば性別を区別しないで表現できるから面倒が省ける。
  - ④ heesh を使えば性別が特定できるから面倒が省ける。
- (3) この文章の著者はこれまでにどのような努力をしてきたと述べているか。正しいものを①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 自分が文章を書くときに、性別を表すような代名詞を使わないようにしてきた。
  - ② 自分が文章を書くときに、一般的な職業の人には he と she を交互に使うようにしてきた。
  - ③ 自分が文章を書くときに、社会的地位の高い職業の人には必ず she を使うようにしてきた。
  - ④ 自分が文章を書くときに、社会的立場の弱い人には she を使うようにしてきた。
- (4) 下線部 (c) の内容として本文に書かれていないものを、選択肢①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 近年では火事と戦う男を称賛するようになった。
  - ② 以前はハリケーンに女性の名前しかつけなかったのに、最近は男性の名前もつけるようになった。
  - ③ かつては女性の仕事と見られていた職種にも、男性が進出するのが普通のことになった。
  - ④ ワシントン・ポスト紙は人称代名詞として she/he に代えて they を使うようになった。